

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

学校教育目標

考える子 思いやりのある子
じょうぶな子 やりぬく子

多くの児童が本好きで、熱心に読書を行うことができるが、調べ学習や読書等で図書館をすすんで利用する機会は少ない。

学校図書館の目標

学校図書館の活用や探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成する読書科を目指す

ねらい

- ① 児童の読書意欲を盛んにし、幅広い知識を身に付け、生きる力を育成する。
- ② 調べ学習指導を充実し、学校図書館活用の望ましい態度や技術を高める。
- ③ 多様な資料から目的に応じた情報を選んで、課題解決を図り、情報活用能力を育成する。

指導の重点

- ① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
- ② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と探究的な学習の充実を図る。
- ③ 司書教諭を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・学校図書館のきまりを知り、利用できる。 ・読み物を楽しんで読もうとする。 ・自分の力で「疑問」を考えられる。	第三学年	・進んで学校図書館を利用して調べようとする。 ・様々な種類の本を読もうとする。 ・自分でテーマをもち、意欲的に調べることができる。	第五学年	・目的に応じて学校図書館を適切に利用する。 ・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・自分で調べたいことを見付け、その問題に積極的に取り組み、最後まで調べることができる。
	第二学年		・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。 ・読み物を進んで読もうとする。 ・自分で「疑問」を作ることができる。		・調べる学習に意欲的に取り組む。 ・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・課題を探究していく過程を予測しながら「疑問」を発見できる。

具体的な取組

〔各教科〕

- 課題解決学習、調べ学習の場とする。
- 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。

〔読書科〕

- 「読書科ノート」を活用した問題解決的・探究的な学習の推進（6月の学校公開での授業公開）

〔総合的な学習の時間〕

- 学び方や考え方を身に付ける。
- 課題の解決、探究に主体的に取り組む。

〔特別活動〕

- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に学校図書館を運営し、読書活動推進を展開する。
- 図書委員による中休み・昼休みの図書館開放。貸し出し及び利用の推進。

〔特別の教科 道徳〕

- 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。

〔家庭・地域・区立図書館職員との連携〕

- 「保護者による読み聞かせ」（年5回）による読書の推進と意欲の向上。